

発議案第13号

「浮体式洋上風力発電事業を通じた地域振興と人口減少対策」に関する決議について

上記の議案を別紙のとおり、久慈市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

令和7年6月27日提出

久慈市議会議長 濱 欠 明 宏 様

提出者 産業建設委員会

委員長 小 倉 利 之

「浮体式洋上風力発電事業を通じた地域振興と人口減少対策」に関する決議

久慈市沖における浮体式洋上風力発電事業は、事業規模や波及効果が大きく、再生可能エネルギーの活用はもとより、地域経済の活性化や久慈港周辺環境整備が期待され、市の重要政策として位置付けられている。

令和3年9月に経済産業省及び国土交通省から、久慈市沖が「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」に基づく「準備区域」に整理されて以降、課題であった漁業関係者の理解醸成が、丁寧な取組によって前進し、関係団体が法定協議会への参加に同意するなど、着実な進捗が図られている。

事業化を見据えた取組が進められる中で、市民からも大きな注目が集められており、特に洋上風力発電事業による経済波及効果や地域の活性化に対する期待が膨らんでいる。

このことから、当委員会では、浮体式洋上風力発電事業の実現や、事業効果の最大化による地域振興と人口減少対策を目的として、国内における先進事例を調査するとともに、市内の関係機関と意見交換を行うなど所管事務調査を実施した。その調査結果を踏まえ、下記事項を市に対して提言表明する。

記

- 1 市民の理解を深め、事業を応援する機運を醸成するとともに、洋上風力発電を中心とした地域の将来像を共有するため、市民に対する効果的な情報発信及び理解促進のための事業の展開に取り組むこと。
- 2 事業の経済波及効果の最大化を実現するため、関連産業の振興、関係する企業の誘致、地元企業の参入支援などを一体的に進めるとともに、関係機関との連携を強化し、風力発電関連産業の振興に向けた取組を推進すること。
- 3 浮体式洋上風力発電事業を新たな観光資源として活用し、国内外からの訪問者増加を見据えた観光振興策と受け入れ体制の整備を推進するため、観光産業等の活性化に向けた体制を構築すること。

以上、決議する。

令和7年6月27日

久 慈 市 議 会